

太宰府市民遺産育成団体



育成されている市民遺産名

景観・市民遺産育成団体

代表者または問い合わせ先

連絡先

景観・市民遺産育成団体とは、良好な景観の形成及び市民遺産の育成を自主的に行う団体で、市長が認定した団体です。
景観・市民遺産会議について、詳しくは景観・市民遺産会議ホームページをご覧ください。
市民遺産ポータルサイト <https://市民遺産.jp>

第1号 太宰府の木うそ

太宰府木うそ保存会

青柳 健夫

太宰府市観世音寺1-2-1 (太宰府市商工会)

TEL 092-922-4345(商工会)

平成10年の発足以来『鸞替神事』の歴史を伝え、それを支える木うそを太宰府地域特有の伝統工芸として伝承していくために、製作技術を継承する後継者を育成し、「木うその森」での原木育成活動をしています。

- 第2日曜日…絵付け教室(太宰府館)
- 8~9月日曜日…後継者育成講座
- 不定期「木うその森」下草刈り、その他

第2号 八朔の千燈明

五條風の会

大藪 善治

太宰府市五条1-4-28 (五条公民館)

TEL 092-923-2684(公民館)

江戸時代後期、太宰府一円に疫病が流行し、尊い命を落とされた方が多くありました。五条区では太宰府天満宮に御願立てをしたところ終息を見たので、御願成就のお礼と、毎年の疫病除けの祈願を9月朔日(9月1日)の夜“八朔の千燈明”を奉納するようになりました。当日は夜8時頃、一斉に御火をともし献燈します。

第3号 かつてあった道 「四王寺山の太宰府町道」

四王寺山勉強会

菜畑 健治

☆

TEL ☆

四王寺山の歴史、史跡、地理、自然など広範囲にわたり勉強を続けており『四王寺山の旧太宰府町道』を市民遺産に提案し、その整備、広報をはじめ、各種の報告書の作成や、講演会等の実施で四王寺山の魅力を広く発信する活動を行っています。

第4号 芸術家 富永朝堂

NPO法人歩かね太宰府

島松 尚宏

☆

TEL ☆

芸術家を目指して19歳で家出をし、山崎朝雲の弟子になり「木の中に棲む作家」と言われ、写実から抽象、新具象として制作、太宰府天満宮御神牛制作を最後に90歳で天然の素中にかえった人生を、遺族が語っています。